



会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第45回

山九株式会社

山九シンガポール

中村 優希さん

PROFILE

2018年、山九に入社。岩国支店で化学品原料・製品等の輸出入業務に携わる。2023年7月から山九シンガポールに出向し、シンガポール国内にある倉庫の管理業務を担当。現在に至る。広島県出身。趣味は旅行。「シンガポールは近隣の国とのアクセスが良ことから、東南アジア各国への旅を楽しんでいます。また、海外勤務を通じて、日本の四季の良さを再確認しました」

私が所属する倉庫事業の管理部門には私を含め日本からの出向者がいますが、倉庫事業にかかわるスタッフはすべて現地社員です。現地社員の皆さんを巻き込みながら、分析したデータを基にコストや要員の最適化を経営層に対して提案し、生産性向上に向けた改善を行うなど、倉庫事業運営全般のサポートに携わっています。また、現場でも、倉庫オペレーションのサービスレベルの向上に向けた企画立案から実施を行っています。

——初めての異動が海外への出向と聞いたとき、どのように感じましたか。

もちろん不安もありましたが、学生のころからの目標だった海外勤務がかなうことに感激しました。また、抱いていた不安自体は、海外勤務というより未経験の業務に対する点のほうが大きかったです。実際に現地での業務に取り組む中で多くの知識や経験を得ることができ、不安は次第に自信ややりがいに変わってきました。

貴重な経験を将来に生かす

——仕事に臨む際、心がけていること、モットーなどを教えてください。

現地の社員の皆さんとの信頼関係が最も大切だと考えており、信頼関係を築くために日ごろから積極的にコミュニケーションをとるよう心がけています。ただ、シンガポールに赴任した当初は、公用語である英語でのコミュニケーションに苦労しました。先にお話した通り、学生時代から英語には慣れ親しんでいたのですが、中華系、インド系、マレー系が

入社6年目で海外現法に出向

——入社の経緯を教えてください。

学生時代、将来は大学で専攻していた英語を生かせる仕事に就きたいと考え、就職活動も海外拠点を持つメーカーや物流企業をターゲットにしていました。山九を志望したのは、海外拠点が多く、海外勤務のチャンスも多いと聞いたことが大きな理由です。陰ながら社会の発展に貢献している物流の仕事にも興味を抱きました。

——担当業務について教えてください。

入社後は山口県にある岩国支店に配属となり、近隣の化学品工場に関連する原料や製品の輸出入業務を担当しました。入社早々、希望していた国際物流に携わることができ、やりがいを感じましたし、輸出入業務を学ぶ良い経験になりました。そこで5年半勤めた後、現在の職場であるシンガポールへの出向が決まりました。赴任してからは、シンガポール国内に4カ所ある倉庫の統括業務を担当していま

混在するシンガポールの英語には独特のアクセントがあり、耳が慣れるまで時間がかかりました。また、現地社員の皆さんは、私たち出向者のことを日本から来ている管理者としてリスペクトしてくれますが、その立ち位置のままではなかなか距離が縮まりません。お互いに本音で話せるよう、親しみやすい姿勢を心がけるとともに、現地社員の言葉にしっかり耳を傾けることを大切にしています。

——現在の課題について教えてください。

現在、私の所属する部署では、事業規模の拡大と管理体制の強化に向けて日本人出向者を組織に加え、業務や組織の改善に取り組んでいます。私自身もその一員として、先輩の日本人出向者とともに業務内容の調査や、データの収集と分析を進め、あるべき組織運営の形を模索しながら細かい仕組みづくりと改善を積み重ねています。今後も現地社員の皆さんの理解と協力を得ながら、より良い倉庫運営の実現に貢献していきたいと思っています。

——仕事をする上で、どんなときにやりがいを感じますか。

日本にいた頃よりもスピード感を持って意思決定が行われる環境で、より大きな裁量を持って仕事をさせていただき、刺激的な日々を送っています。そうした中で、シンガポールという国ならではの多様なバックグラウンドを持つ現地社員たちと協力し、プロジェクトを企画から実行まで進め、それを成功に導けたときに大きなやりがいを感じます。

——今後の抱負を教えてください。

現在トゥアス地区に来年1月開業予定の自社倉庫を建設中です。全階定温管理の4階建て倉庫で、東南



職場の皆さんと

シンガポール市内で▶



アジア域内における山九グループ最大級の物流センターとなります。まずは安定操業へ向け準備を進めるとともに、今後は自動フォークリフトでのオペレーション等、最新技術の導入にも取り組んでいきます。

また、私自身としてはこれまでに地方港における輸出入そして海外の倉庫と、まったく異なる経験を通じて視野が広がったことを実感しています。今後もさまざまな経験を積み、広い視野で物流を考えながらお客様に最適な提案を行い、会社の発展に貢献したいと思っています。

——ありがとうございました。

会社概要

山九株式会社

本社所在地：東京都中央区勝どき 6-5-23

設立：1918年

代表者：代表取締役社長 CEO 中村 公大

拠点数：200以上

従業員数：単体 12,292 人 連結 29,614 人 (2025年3月時点)

【事業概要】

山九は、国内外で輸送、港湾荷役、倉庫管理、構内物流、構内操業など多角的に事業を展開し、顧客ニーズに応じた高品質な物流サービスを提供する総合物流企業。さらに、プラント建設や保全などのプラントエンジニアリング事業も手掛けている。

